

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400087	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢		
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢3-21-25		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員 通い定員 宿泊定員	名 名 名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員計 ユニット数	18名 2ユニット
自己評価作成日	平成22年10月2日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月8日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地震・火事に備え、毎月レクリエーションの一環として、防災・避難訓練を実施しています。 毎回、出火場所を想定し、外まで利用者様を避難誘導しています。 回を重ねる事にスムーズになり、利用者様の意識も高まっているようです。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年11月25日	評価機関 評価決定日	平成23年1月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<事業所の優れている点> ◇事業所は地域との交流を積極的に実施し、自治会への加入はもとより、盆踊りや地区主宰の「ホットサロン」でお茶会や歌を楽しみながら地域の方々と交流を深めている。 ◇防災体制の強化を今年度の目標として実現に努めている。具体的には、年2回、消防署の指導の下で消火、通報、救命、避難と夜間想定避難訓練を実施している。今年はその他に、毎月自主防災訓練を実施して、職員と利用者の防災意識の高まりとともに、回を重ねる毎に避難も短時間で、順調にできるようになってきた。 <事業所が工夫している点> ◇職員と利用者が、敷地内の菜園で野菜作りを楽しんでいる。 今年の夏は猛暑で収穫が少なかったが、収穫した野菜を調理して食卓に出し、みんなで味わった。 ◇家族が集まりやすいように2ヶ月毎の行事の後に家族会を開催し、そのとき家族の意見を積極的に聞いて運営に反映させている。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

みんなの家横浜宮沢

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔」「地域にホームを知ってもらう」という理念を常に目のつく場所へ掲示、申し送り、会議等で実践に向けて確認しあい、共有しています。	・理念を玄関とリビングに掲示し職員、利用者、家族にも周知している。 ・日々の申し送りでは、1日を「笑顔」でスタートするように、管理者も職員も心がけている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月地域の「お茶会」に参加させて頂き、イベントの際には、近隣の農家から野菜を分けて頂いたり、散歩の際には、挨拶を交わし交流しています。	・自治会に加入し、盆踊りや地区主催の「ほっとサロン」でお茶会や歌を楽しみ、地域の人々と交流をしている。 ・地域のボランティアが散歩への同行や話し相手、歌、演芸披露に来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で地域の方と、認知症の方への理解や支援方法等を、共に学び理解を頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年4回（年末には宮沢地区合同）の会議にて、活動報告・ホーム情報等を公開、頂いたご意見を参考にし、サービス向上に活かしています。	・同一法人内近隣の2事業所と合同で年3回と、年度末に区主催で地区内事業所合同で1回開催されている。 ・地域からは町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員が参加している。 ・非常用品備蓄をするようにとの意見があり、参考になった。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日ごろから福祉課、保護課との連絡を取り合い、相談や助言を通じ、ケアサービスの向上に努めています。	・瀬谷区担当者とは日頃から接触をはかり、相談事項への助言を得て、ケアサービスの向上に努めている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに向けての研修を行い、毎月1回「身体拘束廃止委員会」を開催する等、周知徹底しています。	・身体拘束をしないケアの実践については、玄関に身体拘束排除宣言を掲示し、身体拘束廃止委員会を設置しマニュアルの読み合わせや事例検討会を行い、職員に徹底している。	・現在、防犯上の観点から玄関の施錠をされていますが、利用者の行動管理面の観点から、施錠しない管理の検討を期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や資料の掲示等で学ぶ機会を持ち、申し送りやカンファレンスで周知徹底し、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や運営推進会議などで学んだ事を、カンファレンス等で伝達し、活用出来るよう検討しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約解除時共に、説明を十分に行い、納得して頂けるようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年6回の家族会を、意見交換の貴重な場として運営に反映しています。又、利用者の意見等を真摯にとらえ、カンファレンス等で検討しています。	・利用者やご家族の意見を積極的に吸収するため、玄関に意見箱を設置し、更に2ヶ月毎の家族会で意見を訊いている。 ・意見の中で、重度化した場合、いつまで居られるかとの意見があり、重要事項説明書をもとに説明した。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、全体会議、各種委員会等で意見交換を行い、取り上げられた意見は申し送り等で伝達し、チームケアに努めています。	・諸会議、各種委員会等で職員から業務改善の提案、要望を聞き、運営面に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的な管理者による個人面談を行い、個々の事情や希望を考慮し、働きやすい職場環境やシフト作りに努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業内研修をはじめ、法人研修、外部研修などの参加を促し、学ぶ機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に加入し、情報収集を行い、研修や各委員会において、情報の共有・サービスの向上に努めています。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の見学時、事実調査時など、不安を軽減して頂けるよう、一つ一つ丁寧に傾聴し、信頼関係作りに努めています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者の生活歴、現状況を把握し、不安や要望を傾聴し、信頼関係を築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内の入居担当者や管理者が、ご本人・ご家族の必要としているサービスを把握し、治療院等他の連携を含め、速やかな対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で信頼関係を築けるよう、食事や散歩、掃除等の家事を一緒に行い、家族のように過ごしています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に利用者を支え、より良いケアが行えるよう相談し、協力をして頂いてます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族同意のもと、友人等への電話や面会が気軽に出来るよう努めています。 又、ご家族と共に行きつけの美容院や店へ出かけられる方もいます。	・友人の来訪時には、家族の了解を得て歓談場所の設営やお茶の接待などの支援をしている。 ・馴染みの美容院、行きつけのお店、かかりつけ医には家族に同行をお願いしている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、コミュニケーションがとれるよう職員が間に入り、座席位置等にも配慮しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	郵便物の返送や、年賀状・法人で発行しているフリーペーパーや、ネット通信等を送っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望や意向は、申し送り等で共有し把握に努めています。又、把握困難な場合は、ご家族へ伺い利用者本位に汲み取るよう努めています。	・日頃の会話から個人個人の思いや意向を把握し、それを全職員が共有出来るように努めている。 ・把握が困難な場合は表情や仕草で判断し、あるいは二者択一で聞き出すようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の実態調査表を把握し、必要の応じ利用者やご家族から伺い、情報を共有しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを把握し、食事・排泄・バイタルチェックを実施し、全て記録に残し情報の共有に努めています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議にて意見交換及び、3～6ヶ月毎のカンファレンスを行い、利用者・ご家族の意向を反映した計画を立てています。	・毎月カンファレンスで職員間で意見交換し、介護計画は3～6ヶ月毎に見直している。 ・見直しに当たっては、聞き取っている家族の意見や医師の意見も反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	詳細に記録を残し、申し送り等で情報を共有し、実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々の要望に対し、迅速に対応出来るよう、サービス関係者やご家族と連絡を取り合っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署と連携し、消防訓練や救命訓練等を実施、近隣施設や住民へ災害時の協力要請を行っている。又、イベント時にはボランティアの方々に参加して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族同意のもと、提携医療機関からの訪問診療を、月2回受けています。	・3名が以前からのかかりつけ医を家族付添いで受診し、その他の方は協力医の往診を月2回受けている。 ・医療連携看護師が毎週来訪して利用者の健康管理にあたり、歯科医も毎週来て必要な診療を行っている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診機関及び医療連携看護師と情報を共有し、適切な指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常に状況を把握出来るよう、医療機関やご家族と連絡を取っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	当社の看取り指針に基づき、家族会などで説明させて頂き、利用者・ご家族の意向にそったケアに努めています。	・重度化や終末期対応については、入居時に重要事項説明書で重度化対応の指針を説明している。 ・看取りの事例はないが、今後法人の看取り指針に基づき職員教育を行いながら実施を検討する。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルの掲示、消防署・署員立会いにてAED含む救命法実施、緊急時に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアル及び連絡網を整備し、防火点検（自主点検）及び毎月1回の自主防災訓練、年2回の防災訓練を行っています。7月スプリンクラー設置工事完了。	・年2回消防署の指導で夜間想定 の防災訓練も行い、更に独自で毎月自主訓練も実施している。 ・非常時の避難場所も近隣の協力で確保出来ている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室の小窓・内側から手作りの目隠しを付ける等して、訪室のあり方にも注意し、プライバシーの尊重に努めています。	・職員は入社時に利用者の人格尊重と、そのための言葉遣いや接遇について研修を受講して周知している。 ・職員の利用者の各居室訪問時も、礼節とプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの得意な事、苦手な事等を把握し、コミュニケーションの取り難い利用者からは、その方の思いを汲み取り自己決定に繋がるよう働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースや趣味に合わせ、自由な生活をして頂き、希望には出来る限り迅速に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理美容にて、整髪・パーマ・髪染め・顔そり等が行えるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの食事形態へ配慮し、利用者と職員共に食事や片付けを行っています。又、季節や行事に合わせ、特別なメニュー提供に努めています。	・献立は法人本部でカロリーと食べ易さを配慮して作成している。行事や誕生日には、特別メニューをリクエストして楽しんでいる。 ・利用者は、各自ができる範囲で配膳下膳を手伝っている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立表による調理。1日の食事摂取量・水分摂取量を記録し、体調やADLの変化時には医療と連携し、食事の形態を変更する等対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔を保つ為、歯科医師による定期健診と歯科衛生士によるアドバイスを頂き、毎食後、声掛けと見守りを行い必要に応じ		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表をもとに、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導の声掛け等を行っています。	・排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、オムツや車椅子の方もトイレに誘導して排泄自立を支援している。 ・夜間も転倒の危険のない限り、トイレでの排泄を誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や散歩等で身体を動かしたり、水分補給を行う等便秘予防に働きかけています。 又、必要に応じ主治医より、下剤が処方されています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望があれば毎日でも入浴出来、機械浴も可能です。無理強いせず楽しく入浴出来るように配慮し、体調や希望により、足浴や清拭の場合もあります。	・入浴は2日おきに週に2～3回としているが、希望者は毎日でも入浴出来るようにしている。 ・車椅子の方も安全に入浴できるように、リフト浴の設備も備えている。	

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間不眠時は状況により、お茶を提供したり、訴えを傾聴し、安心して眠れるよう努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	変更時や追加時は申し送りや記録にて情報を共有し、主治医や薬剤師との連携、ご家族への報告を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみにしている事や出来る事を探し、時には、お手伝い等役割をもって頂くよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	健康状態や希望にそって、車椅子の方も含め散歩や日光浴、庭内での園芸等で外気浴を行っています。又、一人ひとりの希望にそって、買い物や外食等の外出支援も行っています。	・天気の良い日は近所の神社や小川へ、車イスの方も散歩に出かけ、外出したがない方はベランダで庭を眺めて外気浴をしている。 ・事業所の近くにはお店やさんがいないため、買物や外食の希望にはタクシーで個別に対応することもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	訪問パン屋やお買い物は、ご本人が代金を実際に支払い、充実感を味わって頂けるよう支援しています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎをしたり、ご本人自ら電話を掛けたり、手紙のやり取りが出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の作品や写真を飾り、季節感の溢れる、居心地の良い空間作りに努めています。	・リビングは南向きで、大きな窓からの採光は豊かで明るく、不快な臭いはない。 ・利用者のくつろぎのために畳コーナーも用意し喜ばれている。 ・壁面には、行事の写真や利用者による塗り絵、貼り絵などを飾り、明るく居心地よく過ごせる雰囲気が出ている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースの一部を畳敷きソファを配置、リラックス出来る環境を作っています。テラスには長椅子を設置し、日光浴を楽しめるようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや仏壇等を使用して頂き、居心地良く、安心して生活出来る環境作りに努めています。	・ベッド、クローゼット、整理たんす、洗面台が備えられている。仏壇や使い慣れた椅子、テレビなども持ち込んでいる。 ・利用者が自分の部屋として安心して過ごせるように、希望があれば模様替えも支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・小窓内側の目隠しに苗字を刺繍する等し、混乱や失敗が無いよう、一人ひとりの能力に応じて声掛けや介助を行っています。		

みんなの家横浜宮沢

事業所名	グループホームみんなの家・横浜宮沢
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
		○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員・管理者と力を合わせ、当ホームと自社の理念に基づく行動を実践するよう、努力しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会、社会福祉ネットワーク等に対し、交流を図ることを大切にしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームを理解して頂く為、地域に向けて発信して行けるよう、日々努力を重ねています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様の活動報告等、様々な内容を把握し、会議等で意見交換を活発に行なっています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター福祉課より助言協力を得ながら、ケアの向上に努力しています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロに向けて、日々職員一同努力し、勉強に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々、入浴時等ボディーチェックを見逃さず、職員同士の連携を大切にしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	折に触れ、研修に参加しているが、現在検討中です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に管理者、担当者が悩み・不安等ないかを伺い、納得出来るよう説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様、利用者様との意見交換を大切にし、ホームの向上に努めています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員一同、利用者様を第一に、納得のゆく会議内容にして行く努力をしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者による個人面談・会議での意見を反映し、働きやすい職場作り・環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修のお知らせをファイリングし、参加を促しています。又、ユニット会議にて、その都度、技術指導を行なっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	運営推進会議、エリア会議、グループホーム連絡会等を通じて、サービスの向上に取り組んでいます。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の経歴を把握し、趣味などを理解した上で談話し、少しずつ信頼関係を深める努力をしています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	疑問に思っている事、困っている事等に耳を傾け、会話を大切にし、解決してゆけるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス内容を大切に、必要に応じて、ご家族と連携を取り、対応していくよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	笑顔の絶えない生活リズムを作り、お互いに信頼出来るよう努力、協力を欠かさないよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の意見及び要望を尊重し、ご本人の状態に沿って連携・支援を行なっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚・友人等に、気軽に訪問して頂ける様、明るいホーム作りをしています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係を常に把握し、男性・女性共有の話題作りや、難聴の方へのフォロー等、楽しくコミュニケーション出来る環境作りに努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話での様子伺いをしている。法人で発行しているフリーペーパーやネット通信を送っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話等から、ご本人の希望や思いに気付くよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の実態調査票や面会時に、ご家族からの情報収集を行い、ご本人からも会話を通して、過去の生活環境を把握していくよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日行なわれる申し送りや生活記録、バイタル測定、食事量や行動・言動等を通して、ご本人の状況把握に努めています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意向を伺い、3ヶ月及び6ヶ月毎のカンファレンス・モニタリング（6ヶ月経過時はアセスメント実施）を行い、職員の意見を取り入れ作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実践したケアについてはケアプラン番号を記入し、異なった言動・行動があった場合は、その都度詳細に記入し、職員間で情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の意思を尊重し、状況に合ったケアが出来るよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	「ホットサロンゆうあい」でのお茶会や地域の盆踊りなどへ、出来るだけ参加して頂けるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、提携医療機関から往診を受け、相談しています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、医療連携看護師へ日常の気づきや異変を報告・相談し、健康管理を行い医療機関へ繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時及び退院時には、サマリーや医師からの情報を受け、対応しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の思いや考えを取り入れ、医師と相談しながら支援出来るよう取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	連絡網を作成し、急変・事故発生時に迅速に対応出来るよう努めています。又、地域消防署の指導により、AED救命法等6ヶ月に1度訓練しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月1回、自主防災訓練実施。年2回消防署職員立会いでの訓練、アドバイスを頂く。平成22年7月、スプリンクラー設置工事完了。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の人生経験等を伺うなかで、一人ひとりを敬い・人格を尊重するよう心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意思に添い、洋服と一緒に選んだり、塗り絵や歌等レクへの参加意思を自己決定出来るよう、支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の利用者の希望や体調に合わせて、レクリエーションや散歩等をして頂けるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意思を尊重し、洋服を選ばれたり、整容されたりする際、必要に応じアドバイスをする等の支援を行なっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆で協力し、盛り付けや片付けを、利用者と職員共に行なっています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による献立表に基づく調理を行い、一人ひとりの状態に応じた食事形態とし、食事・水分摂取量を記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師・衛生士の指導のもと、一人ひとりの自立度に合わせて口腔ケアを行なっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を基に、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が出来るよう声掛け誘導しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給・散歩・適度な運動に心掛け、必要に応じ、主治医より下剤が処方されています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の希望、体調にあわせ、入浴をして頂き、毎日入浴されている方もいます。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの健康状態をふまえ、食後の休息や夜間時の照明や室温等巡視を行い、安眠出来る環境を整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内容変更等は、申し送り表や口頭で周知徹底し、家族への報告を実施しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの役割と能力に合わせ環境を整え、生きがいを持てるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の体調及びご希望に添い、散歩・外気浴を実施。ご家族との外出や地域行事への参加も、可能な限り支援、実施しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月2回の訪問パン屋やショッピングの際、実際に代金を支払えるよう支援しています。		

みんなの家横浜宮沢

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたい時は、職員が取り次ぎ、連絡が出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の様様替え、行事による写真等を、明るく彩りを加え、居心地良く過ごせるように工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前ソファやベランダのベンチ等、くつろげつ環境作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していた家具等を持参して頂き、本人が居心地良く過ごせるよう、工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の希望や能力に添い、出来る部分を自信に繋げられるよう支援しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

GHみんなの家 横浜宮沢

作成日

平成23年1月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時用の食料及び飲料水の備蓄が、充分でない。	利用者様の安心・安全を確保できる体制を整える。	全職員が防災意識を高め、食料及び飲料水・備品を含め、定期的に備蓄確認及び補充を行う。	1 2 ヶ月
2	35	地域住民を含めた避難訓練等の、具体的な協力体制が出来ていない。	近隣施設及び、地域住民の協力体制を強化する。	災害時におけるリスクを軽減させる為、日常的に地域交流を深める。	1 2 ヶ月
3					
4					
5					